



2018. 7. 1

7月 ちとせだより

幼保連携型認定こども園
神戸 YMCA ちとせ幼稚園

プールの組立、今年は建設作業員の方たちに来てもらい、朝から作業に取り掛かりました。時間と人手の遣り繰りが、内輪だけではどうにもならなかったのです。

当日は朝から梅雨らしい雨でしたが、前々園長（現在は顧問）の吉田さんと山田先生が現場監督、学童のリーダーがボランティアで加わりました。作業員の方たち、プール組立は初めてとのことでしたが、側壁は真っ直ぐか、プールサイドは水平かと、プロらしいこだわりと無駄のない動きはさすがです。3時間かからずに完成した今年のプールは、例年にない？「端正な姿」です。

門扉もやっと交換できました。色々な面で木製が良いと考えて発注したのですが、予想外に時間がかかってしまいました。安全面で不安に感じておられた方も多かったことと存じます。申し訳ありませんでした。

オートロック式で暗証番号をプッシュするとか、カメラを付けてリモコンで解錠するとか、いろいろ検討したのですが、現状の施設利用状況を考え、子どもたちの手が届かない門扉の上部に小さな門を取り付ける、というシンプルな結論になりました。出入りの際には、門を掛け外して下さい。

門扉に「防犯カメラ設置施設」と掲示していますが、2016年度に補助金を利用して外部侵入を監視するカメラ（門扉を含む6台）を設置しています。モニタで監視できる利点もありますが、抑止効果に期待して設置しましたので、門扉が新しくなったのを機に掲示しました。

このところ南棟（さくらんぼの部屋がある建物）、プール、門扉など比較的大きな環境整備が続きましたが、保育室の備品、おもちゃや絵本も、そして教諭が毎日準備する保育内容も、子どもたちの心を動かす「環境」です。何気なく置いてある絵本一冊、飾り付け一つに、教諭たちの願いが籠められていますし、時には、ある目的に沿った「仕掛け」になっていることもあります。

そういった環境を整えて、遊ぶ子どもたちの心が動くその一瞬を見逃さないで、認めて、一緒に喜んで、励まして、興味を育てて、子どもたちの心を伸ばしていきます。

年少組の子どもたちは特に、新学期開始から色々な刺激を「受け入れる」毎日だったはずですが、そろそろ、「おもしろそう」「やってみたい」そんなエネルギーが溢れ出て来る頃です。心も身体も、いっぱい動いて、「やってみる」夏に向かいたいと思います。

年主題 『イエスさまとともに生きる～愛の交わりの中で～』

<年主題聖句> 「愛する者たち、
神がこのように私たちを愛されたのですから、
私たちも互いに愛し合うべきです。」
(ヨハネの手紙Ⅰ 4章11節)

7月主題 『やってみる』

<聖句> 「イエスは言われた。祈るときには、こう言いなさい。」
(ルカによる福音書 11章2節)